中部山岳国立公園

乗鞍岳へは、バス、タクシーでお出かけください。

観光バス、タクシーは乗鞍鶴ヶ池駐車場（乗鞍畳平）で駐車料金が必要となります。また、乗鞍地域の自然環境保全施策に要する費用に充てるため、乗鞍環境保全税が課税されます。

乗鞍畳平

大型バス　（30人乗り以上）　10,000円
乗鞍環境保全税3,000円＋駐車料金7,000円

マイクロバス（11人～29人乗りまで）4,500円
乗鞍環境保全税1,500円＋駐車料金3,000円

タクシー　2,000円
乗鞍環境保全税　300円＋駐車料金1,700円

乗鞍イベントカレンダー

- ○5月15日　**乗鞍岳山開き祭**
  乗鞍スカイライン開通（岐阜県側）
  安全祈願祭と地酒樽開きが行われます。
- ○5月15日～6月上旬　**雪の白壁見ごろ**
- ○7月1日　**乗鞍エコーライン開通（長野県側）**
- ○7月第1日曜　**乗鞍スカイラインサイクルヒルクライム大会**
- ○7月中旬～8月中旬　**高山植物の花見ごろ・乗鞍自然観察教室**
  キバナシャクナゲ・ハクサンイチゲ・ミヤマキンバイ・コマクサなどが開花します。
- ○8月8日　**乗鞍本宮例祭**
  畳平で獅子舞が奉納されます。
- ○8月中旬～9月上旬　**乗鞍岳星空観察会**
  乗鞍岳の宿泊施設に泊まり、移動天体観測車で星空を観察します。
- ○8月下旬日曜　**全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍**
- ○9月中旬～10月上旬　**紅葉の見ごろ**
  肩の小屋口・猫岳・平湯峠などでは、ナナカマドの赤色やダケカンバの黄色が鮮やかです。

アクセス

お問い合わせ

高山市 丹生川支所
〒506-2192 高山市丹生川町坊方2000　TEL(0577)78-1111

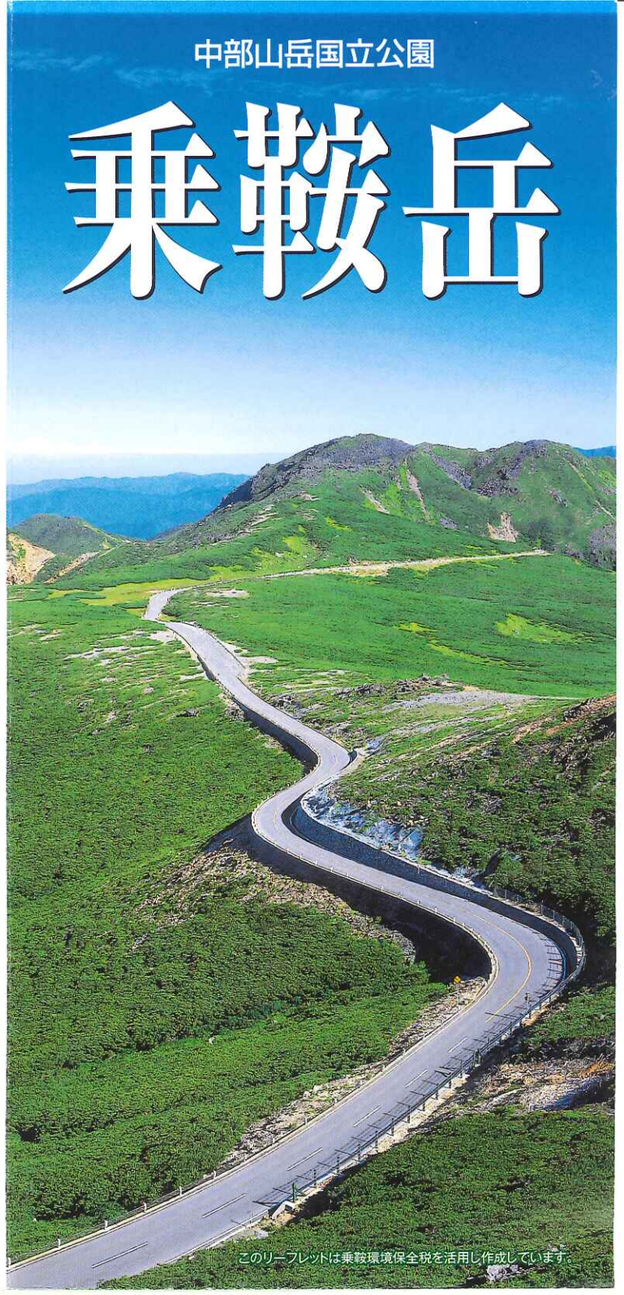
乗鞍総合案内所（5月15日～10月31日）
〒506-2254 岐阜県高山市丹生川町岩井谷乗鞍　TEL090-8671-3191

乗鞍観光協議会（通年）
〒506-2192 岐阜県高山市丹生川町坊方2000
TEL(0577)78-2345・FAX(0577)78-2011
URL http://www.hida-norikura.com

古紙配合率70%再生紙

中部山岳国立公園

乗鞍岳



このリーフレットは乗鞍環境保全税を活用し作成しています。

乗鞍岳 動植物図鑑

ワナーをゲットしてください。
自然をお楽しみください。

ライチョウ（雷鳥）

国の特別天然記念物に指定され、乗鞍岳一帯には約100羽しかいないと推定されており、保護しなければならない貴重な種です。6～7月に産卵・育雛し、冬は白色に羽毛が生え変わり、天敵から身を守っています。

5～10月

イワヒバリ

岩の隙間などで6～7月に産卵・育雛します。多夫多妻で繁殖し個体数も多く、岩場や畳平のお花畑でよく見かけます。

6～10月

カラマツ

ハイマツ林に生息して雪の上やお花畑を歩きながら昆虫や種子を食べることがあります。

5～10月

ホシガラス

全体的に黒茶色で白色の斑点が縞になっています。8月下旬になるとハイマツの実を食べるために上がってきます。

6～10月

オコジョ

岩や樹根の隙間などに巣穴を掘り、人前に姿を現すことは稀です。夏は背が茶色で腹が白色、冬は全身が白色となります。

5～10月

ツキノワグマ

のど元の白い毛がV字形に見えることから前かけ状に見えることから三日月熊とも呼ばれています。夏は標高が高い所へ移動して活ずるため乗鞍岳一帯で目撃されます。

7～8月

ウシガエル

7～8月

ヒメアカタテハ

7～8月

ヒメウラナミジャノメ

7月

ミヤマシロチョウ

7～8月

ミヤマモンキチョウ

7月

ベニヒカゲ

7～8月

ハクサンイチゲ

畳平の雪解け直後に群生して金銀とも言われます。秋をつげる花で、雪解の周辺でよく見ることができます。

8～9月

ミヤマキンバイ

花の色から別名を黄金菊とも言われます。秋をつげる花で、雪解の周辺で見ることができます。

7～8月

ミヤマエンレイソウ

乗鞍岳ではよく見かけます。薬にはイチゴの薬に似た赤い実色の薬になります。

7～8月

ミヤマスミレ

大きな株になり、白い清楚な花をつけます。花期は長く（鶴ヶ池周辺でよく見かけます。

7～9月

ミヤマタイトゴケ

大きな株になり、白い清楚な花をつけます。花期は長く（鶴ヶ池周辺でよく見かけます。

7～8月

ミヤマシラネセンノウ

畳平周辺の登山道の岩場などでよく見られます。タイコウの薬に似ていることからこの名がつきました。

7～8月

モミジカラマツ

わふかとした白色の清楚な花をつけます。葉の形がモミジに似ていることからこの名がつきました。

7～8月

ヨツバシオガマ

ノコギリのような葉が輪生しています。夏の比較的早い時期にピンク色の花をつけます。

7～8月

ハクサンイチゲ

白いお花をつけ畳平のお花畑は大群生地です。茎葉や黒い果実はクモ毛のエサとなります。

7月

ミヤマシロバイ

真綿で覆われたように多くの毛がついています。ヨーロッパアルプスに咲くエーデルワイスの仲間です。

7～8月

ミネズオウ

畳平のお花畑の木道の入口あたりに群生しています。秋をつげる花で、冬は低いですが木の仲間です。

7月

ミヤマキンポウゲ

花は白色で秋は真っ赤に紅葉し果実をつけます。乗鞍エコーライン周辺の紅葉は鮮やかです。

7～9月

タカネナナカマド

花は馬の蹄に似ている為草の名がつきました。花が咲くのに5年以上かかるといわれています。

5～10月

コタケ

花は馬の蹄草の名がつきました。花が咲くのに5年以上かかるといわれています。

5～10月

ハイネムレバ

高山植物の中では比較的草丈が高い植物です。花が咲くまもなく咲かないと年がわかる不思議です。

6～8月

ムラセキ

薬が病厚のツツ状の低木。白桃色の釣鐘状の花が咲き、その後は赤く丸い実をつけます。

7～9月

コイワカガミ

朝露に濡れた光沢のある葉が太陽の光で照らされるとうすけは鏡のようです。

7～8月

クロユリ

茶褐色の花をつけます。畳平のお花畑入口の湿地帯をとに生えます。

7～8月

ウツクシヤマウラ

畳平のお花畑周辺で7月中旬からよく見かけます。鮮やかな茶色と大きな自玉模様がシャクの飾り羽のように見えます。

7～8月

アサノツバメガラ

雪渓のある谷の湿地や岩場に生えます。おちょぼ口の青白い花をつけます。

7～8月

イワキキョウ

青紫色の花が上向きに咲きます。桔梗ヶ原から畳平付近の砂利地で よく見かけます。

7～8月

イワツメクサ

中部地方の高山のみに生える植物です。花期が長く お花畑～の階段の周辺でよく見かけます。

7～8月

ウサギギク

1 5から17枚ほどの黄色の花びらをつけます。高山樂や花ツツガこの花をよく好みます。

7～8月

ウメバチソウ

かわいらしい姿の白く咲くほんの小さい薬が特徴的です。やや湿ったところに生えています。

7～8月

ヤツガシラ

花は地味ですが、草丈が大きいので目立ち早く咲きます。花の時期が過ぎると実ん中に赤みがさして きます。

8月

キバナシャクナゲ

高山植物の中でいち早く咲きます。花の時期が過ぎると実ん中に赤みがさして きます。

6～7月

クルマユリ

夏の後半にオレンジの色の花をつけます。薬の名がついています。

8月

ハイマツ

7～8月

タカネナナカマド

7～9月

ヒメウラナミジャノメ

7～8月

ヒメアカタテハ

7～8月

ヒメウラナミジャノメ

7月

ヒメウラナミジャノメ

7～8月

ヒメアカタテハ

7～8

中部山岳国立公園 乗鞍岳散策マップ

乗鞍岳は、北アルプス（飛騨山脈）の南端に位置し、剣ヶ峰（3,026m）を最高峰に２３の峰と７つの湖、８つの平原があり、四季を通じて美しい景観を楽しむことができます。

- 乗鞍岳の自然環境保全事業に活用するため、乗入れる自動車（利用者）より岐阜県乗鞍環境保全税を頂いています。
- 乗鞍岳は標高２，５００m以上の高山地帯です。天候の変化や体調管理に十分注意をはらい行動してください。
- 乗鞍岳一帯は国立公園の中で最も規制の厳しい特別保護地区に指定されています。

４月中旬に山麓の平湯峠から始まる乗鞍スカイラインの除雪作業は、５月上旬に終点の乗鞍岳畳平に到達し、雪に埋もれた観光施設が姿を現します。

乗鞍岳の春は５月１５日に行われる山開き祭とともに訪れます。当日は安全祈願と伝統芸能披露や地酒樽開きが行われシーズンの始まりを祝います。

乗鞍スカイライン沿いでは大型バスより高い雪壁が続き、鶴ヶ池周辺では雪の回廊を楽しめます。

剣ヶ峰より望む北アルプス連峰

畳平から眺める天の川

乗鞍岳のもうひとつの魅力は、手が届くような満天の星空です。

乗鞍岳の宿泊施設に泊まり外に出て天空を見上げれば、天の川や夏の星座が広がる天然のプラネタリウムです。

８月中旬から９月上旬には移動天体観測車と講師を招いて乗鞍岳星空観察会が開催されます。

また、早朝に起き出て岐阜県と長野県境にあたる富士見岳や大黒岳へ向かえば、空がうっすらと白み始め、雲海の彼方から神秘的な御来光を迎えます。

山麓では初夏を迎えますが乗鞍岳はまだ残雪に覆われ、ハイマツや岩肌とのコントラストを楽しめます。

この時季は修学旅行生が多く訪れ、畳平周辺では雪遊びの歓声がこだまします。

また、雪渓（スキー指定地）ではスキーやスノーボードを楽しめます。

乗鞍岳は紅葉シーズンを迎え、９月中旬から１０月上旬にかけて紅葉前線が足早に山麓へと降りていきます。

お花畑ではコケモモやチングルマなどの高山植物が赤く紅葉します。

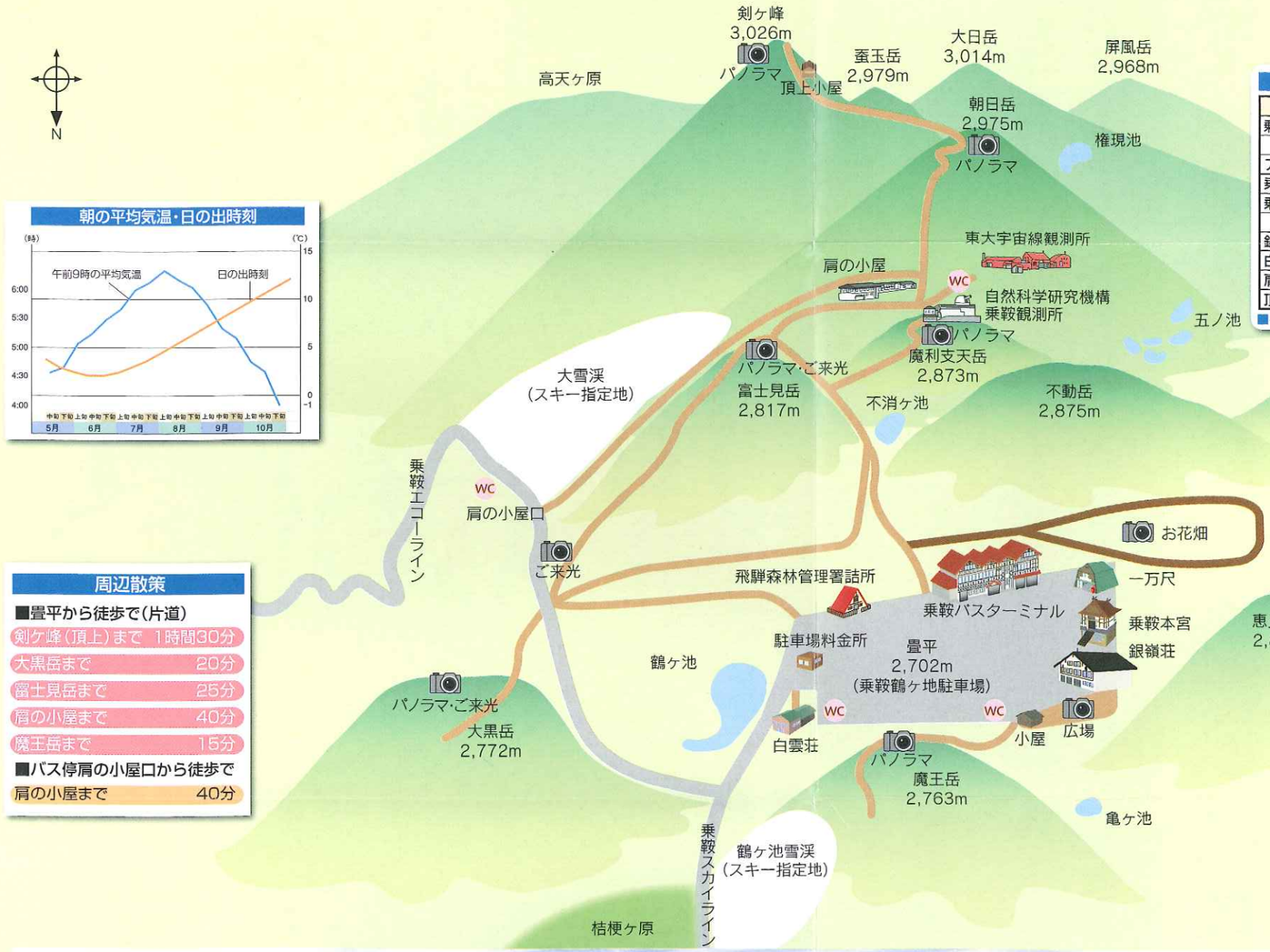
また、乗鞍スカイラインの夫婦松展望園地周辺や乗鞍エコーラインの大雪渓周辺から乗鞍高原にかけての沿道は、真っ赤なナナカマドや黄色のダケカンバなど色鮮やかな紅葉に染まります。

乗鞍岳に短い夏が訪れ、高山植物が可憐な花を咲かせます。畳平の南側に広がるお花畑では、さまざまな種類の高山植物を楽しめます。

７月上旬には乗鞍スカイラインを一気に駆け上がる自転車レース「乗鞍サイクルヒルクライム」が開催されます。近年は雄大なパノラマを満喫できる乗鞍岳を目指すサイクリストが増えています。

花の見頃である７月中旬から８月中旬には乗鞍自然観察指導員による自然観察教室が開催され、乗鞍岳の自然環境や動植物について散策しながら案内します。

また、畳平から最高峰の剣ケ峰（3,026m）まで１時間３０分程で登ることができ、手軽に夏山登山を楽しめることから多くの登山者で賑わいます。



乗鞍山頂の施設

施設名	業務内容	収容人員	電話番号
乗鞍バスターミナル	食堂・みやげ・バス待合	200人	乗鞍総合案内所 090-8671-3191
濃飛バス	乗車券販売・みやげ		
アルピコ交通			
乗鞍本宮神社	神社・みやげ		
乗鞍山頂郵便局	郵便業務・みやげ		
一万尺売店			
銀嶺荘	宿泊・食堂・みやげ	70人	090-3300-3145
白雲荘	宿泊・食堂・みやげ	70人	090-3480-3136
肩の小屋	宿泊・食堂・みやげ	200人	0263-93-2001
頂上小屋	みやげ		090-1561-6434

■冬期の施設連絡先案内　乗鞍観光協議会　0577-78-2345

凡例

- 車道
- 歩道
- 木道
- WC 公衆トイレ
- ビューポイント

周辺散策

■畳平から徒歩で(片道)

剣ケ峰(頂上)まで	1時間30分
大黒岳まで	20分
富士見岳まで	25分
肩の小屋まで	40分
魔王岳まで	15分

■バス停肩の小屋口から徒歩で

肩の小屋まで	40分

秋から初冬にかけて高山盆地一帯は放射冷却による朝霧が立ち込め、乗鞍岳は雲に覆われて見えない日があります。

そんなとき乗鞍スカイラインを通り標高 2,500mを超えると眼下に雲海が広がり北アルプス連峰が雲上に浮かんで見えます。

１０月中旬になると乗鞍岳では初氷や初積雪が観測され、ひと足早い冬の訪れを告げます。１０月３１日に乗鞍スカイラインと乗鞍エコーラインは冬期閉鎖となり、やがて厳しい冬を迎えます。